

Respect Each Other

～生徒一人ひとりの人格や個性を

尊重した指導を目指して～

- 1 生徒一人ひとりの人権を尊重した教育活動を実践します
- 2 魅力ある授業、指導力を身につける研修に取り組みます
- 3 人と人とのつながりを大切に「共育」の実践に努めます

体罰・不適切な指導のない学校づくり

- 1 校内における組織体制の整備
 - (1) 校内体制・生徒支援体制の在り方
 - (2) 生徒への対応、保護者との連携
- 2 校長のリーダーシップ
 - (1) 未然防止に向けた取り組み
 - (2) 体罰・不適切な指導が発生した場合の対応
- 3 教職員の意識改革
 - (1) 「体罰は暴力である」という意識を持つ
 - (2) 「言葉も暴力になる」という意識を持つ
 - (3) 「体罰・不適切な指導は教育手段ではない」という意識を持つ
 - (4) 「教育は共育」であるという意識を持つ

体罰・不適切な指導防止についての学び

- 1 体罰とは何か
- 2 不適切な指導とは何か
- 3 なぜ体罰や不適切な指導を根絶しなければならないのか
- 4 体罰・不適切な指導が起きる背景と課題
- 5 体罰・不適切な指導についてのガイドライン
- 6 体罰・不適切な指導と教員の責任

【参考資料】

- 「STOP 体罰-改訂版-」石川県教員委員会（平成26年4月）
- 運動部活動の在り方に関する総合的なガイドライン（スポーツ庁）

体罰・不適切な指導防止のための総合的な施策

- 1 教員研修の徹底
- 2 チェックする機能の強化
- 3 体罰・不適切な指導のない部活動の推進

【生徒の声を聴くために】

- 担任との個人面談
- 部活動顧問との個人面談
- 保護者懇談会
- 授業評価アンケート
- 学校評価アンケート
- 学校生活アンケート
- 教育支援室、保健室

【教職員の意識改革のために】

- コンプライアンスに関する研修
- アンガーマネジメント研修
- 性的マイノリティに関する研修
- 合理的配慮の提供に関する学び
- セルフチェック体制の確立
- 部活動顧問の意見交換会
- スポーツ医・科学的視点の研究